

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（1日）07時54分に中規模な爆発的噴火が発生しました。
気象庁機動調査班（JMA-MOT：鹿児島地方气象台および宮崎地方气象台）は現地調査を実施し、噴石が新燃岳火口から南西約3.2kmに達したことを確認しました。
このため、1日11時20分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替えました。
新燃岳火口から概ね4kmまでの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。新燃岳火口から概ね3kmまでの範囲では、火砕流にも警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。
降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1）

新燃岳では07時54分に中規模な爆発的噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上2,000mまで上がり、南東に流れました。火砕流は確認されませんでした。

・爆発的噴火に伴う火山性地震及び空振の発生状況

07時54分の爆発的噴火に伴い発生した火山性地震の最大振幅は、新燃岳南西観測点（新燃岳より南西約1.7km）で3,767 μ m/sでした。空振は湯之野観測点（新燃岳より南西約3km）で458.4Paでした。火山性地震と空振の振幅は、これまでに新燃岳で観測を開始して以降で最大でした。

・現地調査（図2、図3）

気象庁機動調査班（JMA-MOT：鹿児島地方气象台および宮崎地方气象台）は現地調査および聞き取り調査を実施しました。

現地調査では、新燃岳火口から南西約3.2km付近で長径70cm短径50cmの大きな噴石を確認しました。この噴石による落下痕は直径6m深さ2.5mでした。また、新燃岳火口から南西約3km付近でも噴石を確認しています。

また、鹿児島県霧島市で爆発的噴火に伴う空振により窓ガラスが破損する被害を確認しました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号：平20業複、第647号）

・上空からの観測（図 4、図 5）

本日午前、鹿児島地方気象台が鹿児島県の協力を得て行った上空からの観測では、火口の南西方向に噴石が飛散しているのを確認しました。また、火口内の溶岩ドームは直径 500m 程度で、昨日と大きな変化はありませんでしたが、ドーム頂部の一部がわずかに低くなっていたのを確認しました。これは、爆発的噴火により吹き飛ばされたと推定されます。



図 1 霧島山（新燃岳） 噴火の状況（遠望カメラ：新燃岳の南西約 7km）
07 時 54 分の爆発的噴火に伴い灰白色の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がり、南東に流れました。



図2 霧島山（新燃岳） 爆発的噴火に伴う噴石
新燃岳火口から南西 3.2 km の地点で長径 70 cm 短径 50 cm の噴石を確認しました。
この噴石による落下痕は直径 6 m 深さ 2.5 m でした。

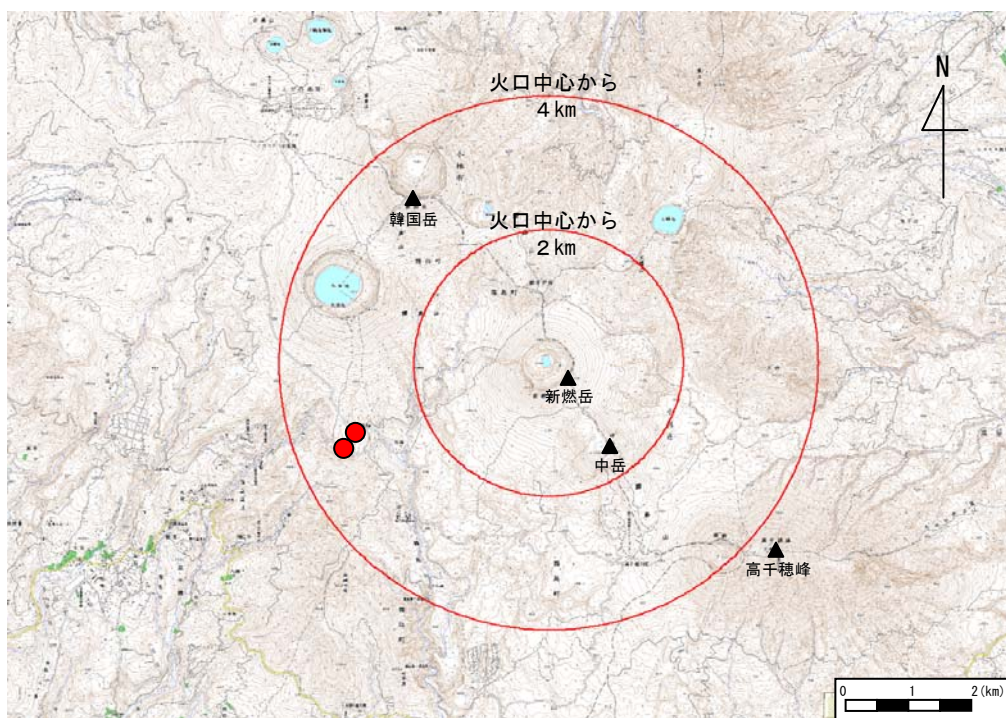


図3 霧島山（新燃岳） 現地観測により噴石飛散を確認した位置（赤丸）
新燃岳火口の南西約 3.2 km および約 3 km 付近に噴石が飛散しているのを確認しました。



図4 霧島山（新燃岳） 上空からの噴石飛散状況
新燃岳火口の南西方向に噴石が飛散しているのを確認しました。



図 5 霧島山（新燃岳） 上空からの溶岩ドームの状況
（上段：2月1日 下段：1月31日）

火口内の溶岩ドームは直径 500m程度で、昨日と大きな変化はありませんでしたが、ドーム頂部の一部がわずかに低くなっていたのを確認しました。これは、爆発的噴火により吹き飛ばされたと推定されます。

降灰や風に流されて飛散する噴石、空振等に対する注意事項

(噴石、降灰について)

- ・爆発的噴火があったことを知った時や降灰が激しい時は、できるだけ屋内など飛散物を避けられる場所へ移動し、噴石や降灰から身を守りましょう。
(降灰が激しい時には、昼間でも周囲が暗くなり、見通しが大変悪くなります。)
- ・降灰のある時には、外出を控えましょう。
- ・どうしても外出が必要な場合には、ヘルメットを着用するなどして、噴石から身を守りましょう。
- ・また、火山灰(特にぬれた場合)は車のスリップの原因になります。車の運転には十分注意しましょう。

(空振について)

- ・空振は火山の噴火などに伴って発生する空気の振動です。直接聞くことが難しいものですが、空気の激しい振動で窓ガラスが破損することがあります。火山に面した窓ガラスにはなるべく近づかないようにしましょう。
- ・窓ガラスを強化しておくことも有効です。

(泥石流、土石流について)

- ・降り積もった火山灰が雨に流されて、泥石流や土石流が発生する場合があります。雨の降り方や気象情報に注意しましょう。

火山活動、降灰・噴石、気象に関して、地元自治体や気象台が発表する最新の情報を入手するよう心がけてください。